



コンパクトシティ戦略による 持続可能な付加価値創造都市を 目指して

富山市長 森 雅志

目指す都市像 ～コンパクトなまちづくり～

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、**公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり**を実現

<概念図>

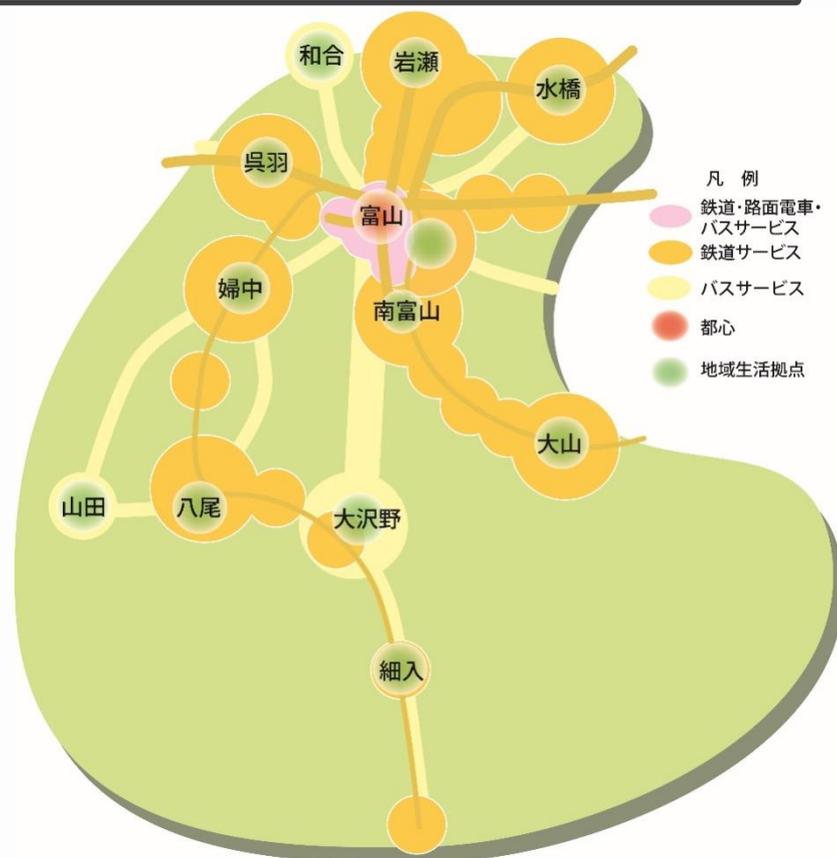
富山市が目指す「お団子と串」の都市構造

串 :一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子:串で結ばれた徒歩圏

<実現するための3本柱>

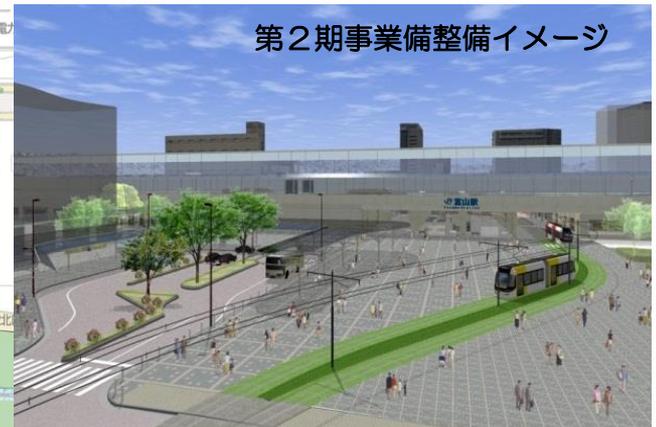
- ① 公共交通の活性化
- ② 公共交通沿線地区への居住促進
- ③ 中心市街地の活性化



路面電車の南北接続事業 ～事業概要～

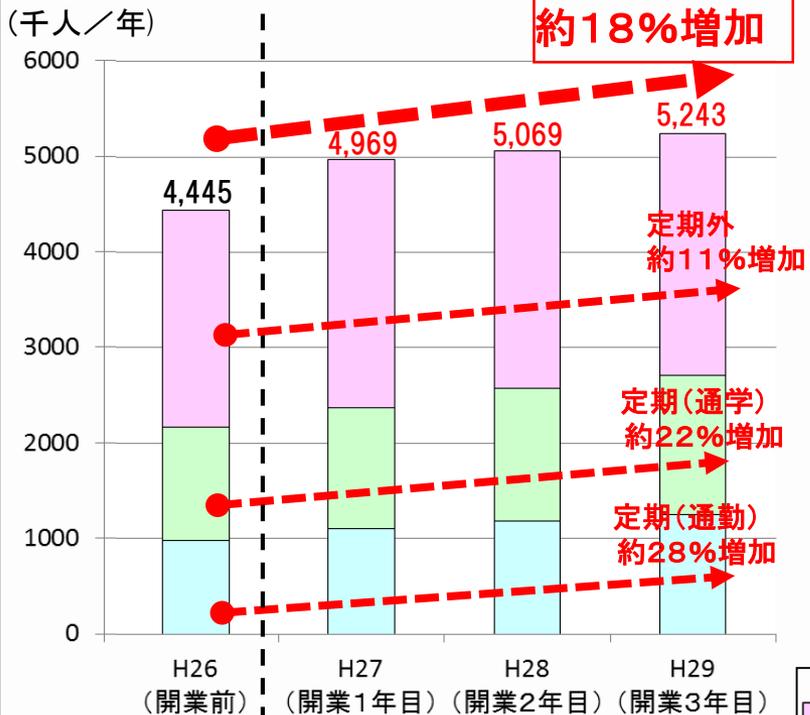
北陸新幹線整備を契機に、富山駅南側の市内電車と北側の富山ライトレールを富山駅高架下で接続し、**LRTネットワークの形成を図る**

- ・ **第1期事業**：北陸新幹線開業に合わせて**新幹線高架下へ市内電車を乗入れ**
- ・ **第2期事業**：在来線高架化に合わせて**市内電車と富山ライトレールを接続**



整備効果（路面電車利用者数の増加）

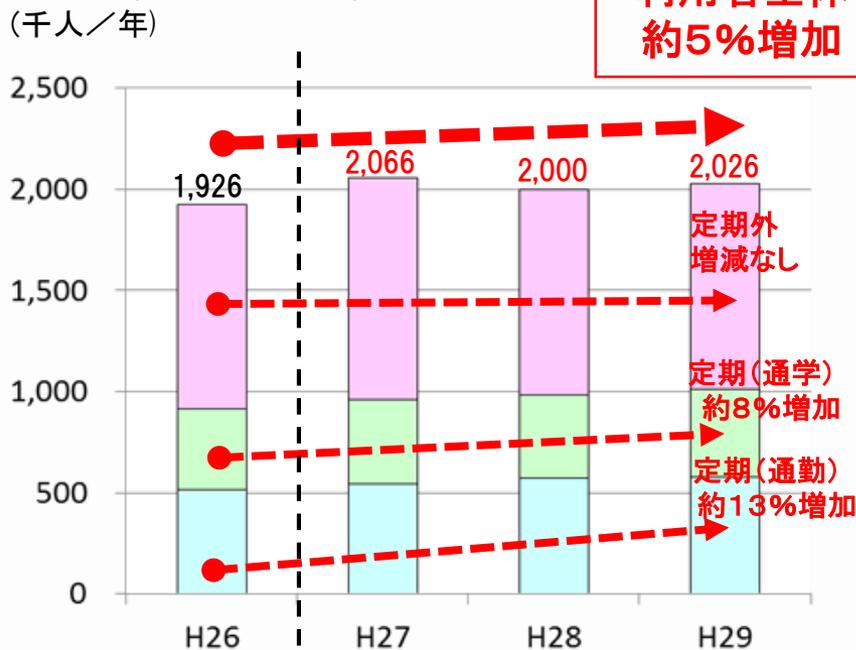
■路面電車(市内電車)利用者数 (H26～29)



第1期開業
(高架下乗入れ開始)

高架下乗入れによる乗継利便性の大幅な向上が大きな利用増加をもたらした

■富山ライトレール利用者数 (H26～29)



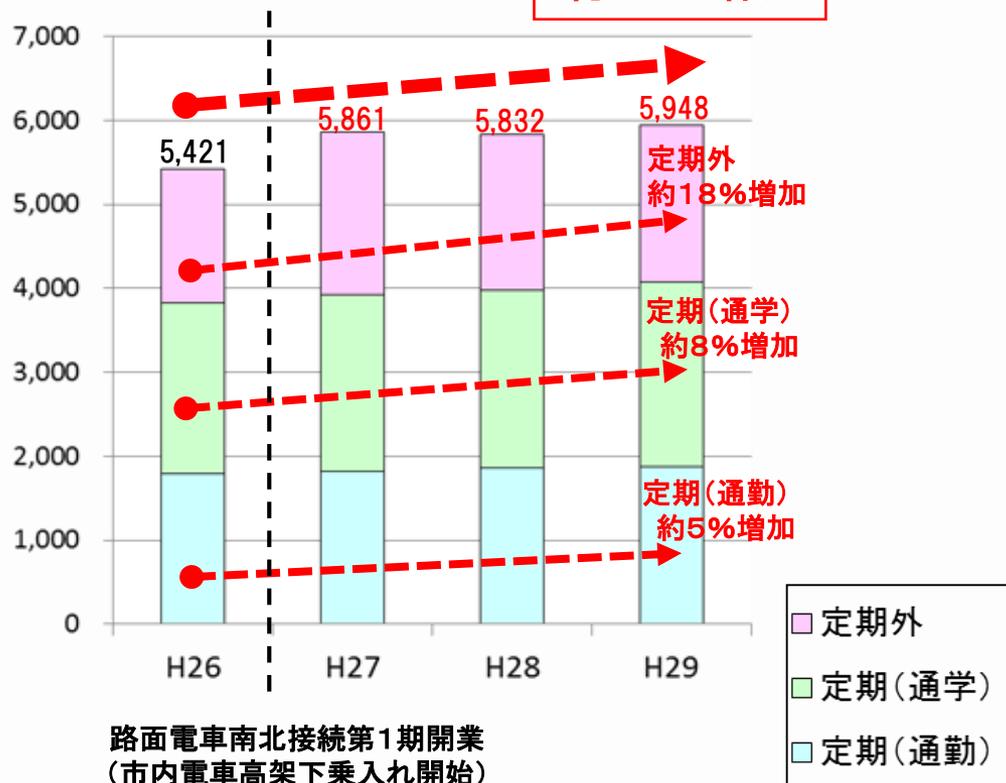
第1期開業
(市内電車高架下乗入れ開始)

富山駅に結節する公共交通の利用者数が軒並み増加

整備効果（公共交通利用者数の増加）

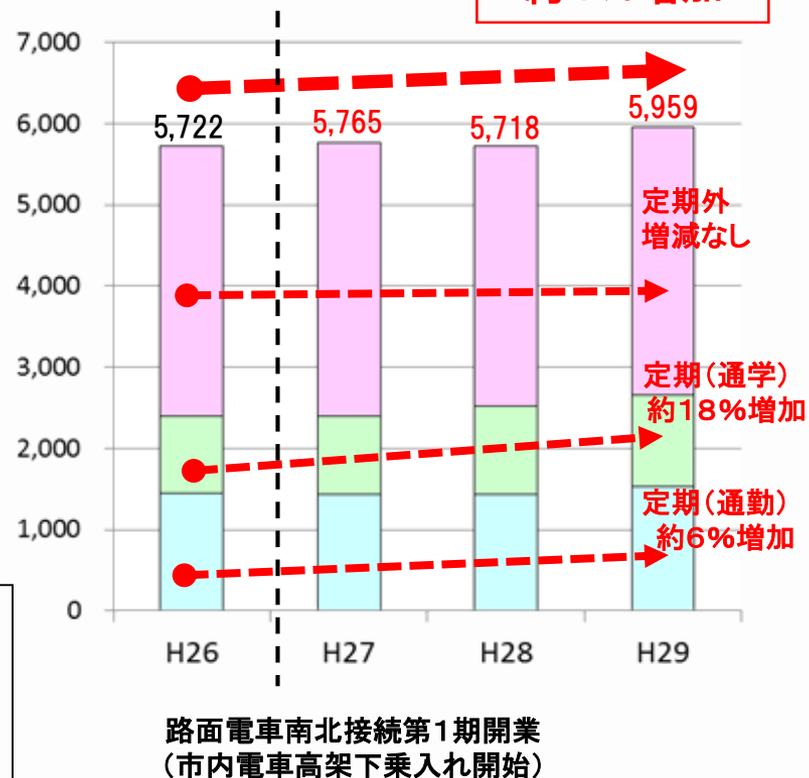
■富山地鉄鉄道線利用者数 (H26～29)

(千人/年)



■路線バス利用者数 (H26～29)

(千人/年)



富山駅に結節する公共交通の利用者数が軒並み増加

コンパクトなまちづくりの効果

～エネルギー消費量の減少～

- 2015年度の富山市のエネルギー消費量は、2011年度(基準年)に比べ、**4.6%減少**している。(計画値3.7%を、**0.9ポイント上回っている**)
- 全体の17%を占める自動車のガソリン等消費量は**4.5%減少**している。

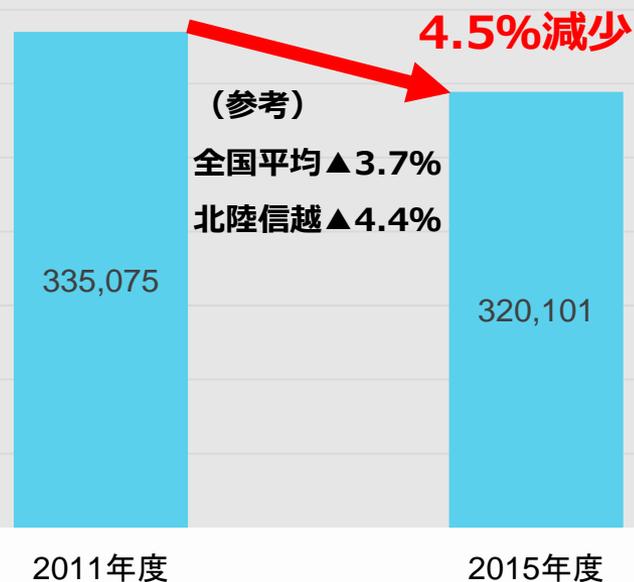
【富山市のエネルギー消費量】

(単位:GJ)



【自動車のガソリン等消費量(富山市)】

(単位:kL)



(※1)運輸部門:自動車、鉄道、船舶、航空機の計

(※2)民生部門:家庭、業務、上下水道の計

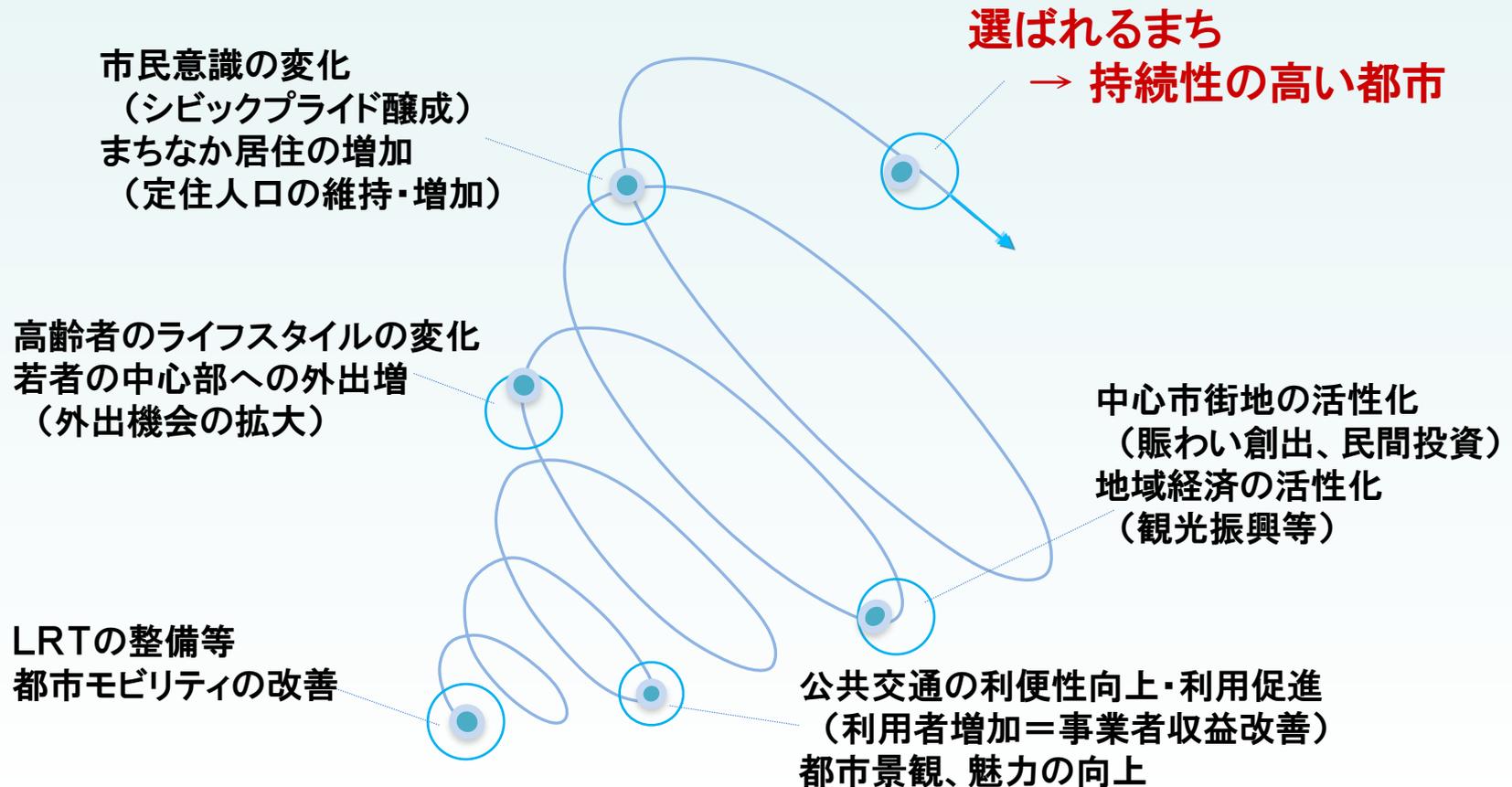
(※3)産業部門:農林水産業、建設業、鉱業、製造業の計

○出典 富山市エネルギー効率改善計画フォローアップ報告書

国土交通省自動車燃料消費量統計年報

コンパクトなまちづくりにおけるLRTの整備効果

「正のスパイラル」が生まれ、「まち」や「ひと」にプラスの影響や変化をもたらしている



富山市の都市間連携

富山市・市内企業の技術・
ノウハウを国際展開



富山市

コタキナバル

バンダアチェ

イスカンドル

トビンティンギ

レボン

バリ

スマラン

バリ州 タバナン県(インドネシア)

- 2014.3 協定締結(再エネ・農業関連等)
- 2017.11 小水力発電設備4機導入
- 2019 もみすり精米機導入予定
- 2020 廃棄物処理プラント導入予定

イスカンドル開発地域(マレーシア)

- 2015.2 協定締結(再エネ・公共交通等)
- 2018.2 小水力+太陽光発電設備導入

中部ジャワ州 スマラン市(インドネシア)

- 2017.12 協定締結(環境・公共交通等)
- 2019.1 CNG転換バス72台改造完成

コタキナバル市(マレーシア)

- 2018.2 協定締結(再エネ・農業技術等)
- 2019 再エネでコブニ村のオフグリッド完成予定

バリ州 クルンクン県(インドネシア)

- 2017.11 協定締結(バリ州・ウダヤナ大学 再エネ等)
- 2018.8 草の根事業申請
- 2019 太陽光発電+揚水ポンプ設備完成予定

ブンクル州 レボン県(インドネシア)

- 2019 小水力発電設備起工予定

アチェ州 バンダアチェ市(インドネシア)

- 北スマトラ州 トビンティンギ市(インドネシア)
- 再エネ・精米機等導入の支援要請あり



タバナン県(インドネシア)

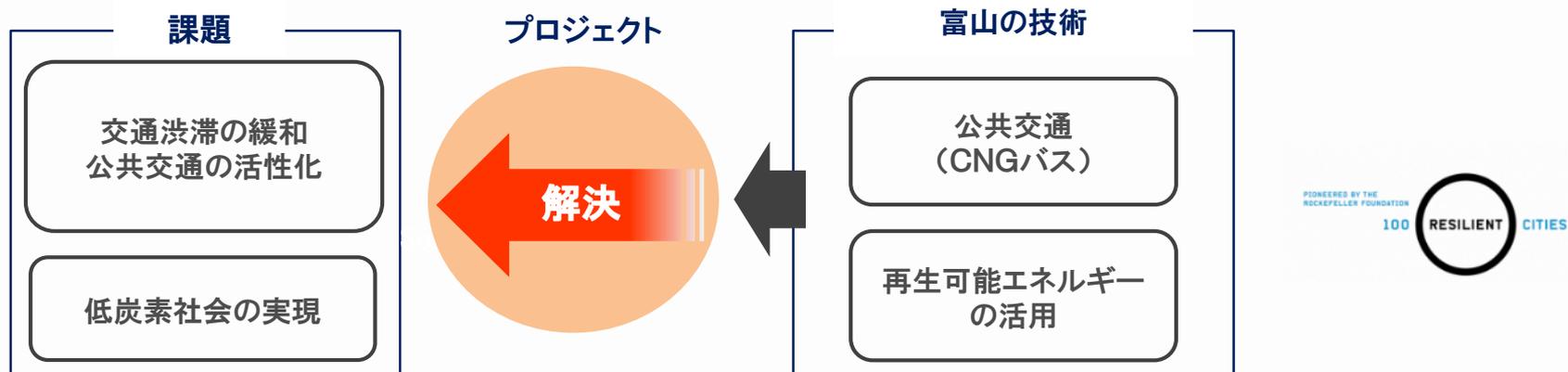
2014年3月、インドネシア共和国バリ州タバナン県との間で、小水力発電システム及び農業(稲作)活性化事業についての協力協定を締結。

2017年11月、4基の小水力発電設備が供用開始。このほか、もみすり精米機及び廃棄物処理プラントの導入に向け準備を進めている。



スマラン市(インドネシア)

スマラン市は、本市と同様にロックフェラー財団による「100のレジリエントシティ」(100RC)に選ばれている。富山市とスマラン市とは、2017年12月に協力協定を締結し、富山市や市内企業の技術やノウハウをスマラン市に適用するためのJCM可能性調査を実施。2019年1月には、市内企業による公共バス72台へのCNG(圧縮天然ガス)導入が完了した。



イスカンダル地域(マレーシア)

2015年2月、本市とともに国連SEforALLの「エネルギー効率改善都市」に選定されているマレーシア・イスカンダル地域と、小水力発電システムや公共交通等の環境未来都市プロジェクトの実施に関する協定を締結。

2018年2月、市内企業が現地の発注を受け、ジョホール州ポンティアン郡の国立公園内に小水力発電設備を設置。



フロートタイプの小水力発電設備



小水力発電設備完成式(2018.2)



協定締結(2015.2)

課題

急速な発展による環境負荷

人口集中／交通渋滞

都市間交通

エネルギーの需要増加への対応

解決

富山市の技術・ノウハウ

コンパクトシティ政策

小水力発電や
その他の再生可能エネルギー

人と環境にやさしい
公共交通

国際展開の意義について

